

チーム えがお

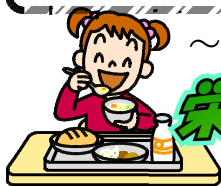
【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



元気な体をつくろう!

発行者:校長 岡田 達也



～ 園が おかがやき かんばる 学校 困うえんだん「チーム北川」～

栄養満点! 安全安心! 「学校給食」

～ 今日も うれしい 学校給食! ～

文部科学省では、学校給食の意義や役割等について子どもたちや保護者、地域のみなさんの理解と関心を高め、学校給食の一層の充実を図ることを目的として、毎年1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」と定めています。

【文部科学省のホームページより抜粋】

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA (Licensed Agencies for Relief in Asia: アジア救済公認団体) から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開（「学校給食実施の普及奨励について」昭和21年12月11日文部、厚生、農林三省次官通達）されました。

同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

このことを受けて、本校では今週1月25日(月)から29日(金)までの期間を「校内給食週間」とし、次の取組を行っています。①給食委員会からの給食週間についての呼びかけ。②なかよし給食(なかよし班ごとに会食:27日)。③標語の作成・掲示。④給食クイズ(給食時間校内放送)。⑤「給食名人になろう」(給食に関わる自己管理、食器の片付け等のマナーの向上)。⑥給食絵手紙の作成・掲示。⑦お礼の手紙(給食センター等)の送付。

この機会に、普段何気なく食べている給食を通して、「食」の大切さを学ぶとともに、給食を作ってくださる方々への感謝の思いを表していきたいと思ひます。

【各学級作成の『標語』】

- ☆ おいしい きゅうしょく のこさずたべよう
- ☆ 給食は みんなで 食べるとおいしいよ
- ☆ 赤 黄 みどりのこさず食べよう
- ☆ きゅう食を のこさず食べると けんこうだ
- ☆ 赤 黄 緑 のこさず食べて じょうぶな子
- ☆ 大切な命を食べる 私たち
- ☆ おいしいな きゅうしょくいっぱい 元気出る
みんなであべる しあわせだ
- ☆ 給食は 自然のめぐみに感謝して しっかり手あわせ
おいしく食べよう



【給食絵手紙】



【標語】